

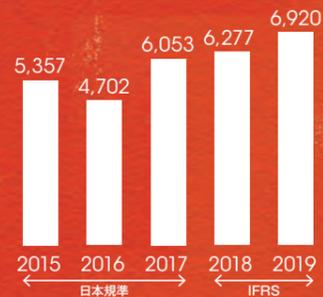
価値創造の成果

財務ハイライト

2015年度は3月期、2016~2019年度は12月期
2015~2017年度は日本基準
2018~2019年度はIFRSの数値を記載

売上収益 (億円)

6,920



2016年度は決算期の変更に伴う移行期間のため9ヵ月決算となり、2015年度と比較して減少しました。2017年度以降は海外塗料メーカーの買収に加え、中国を中心としたアジアおよび日本での汎用事業拡大が奏功し、3年連続の増収となりました。

営業利益／営業利益率

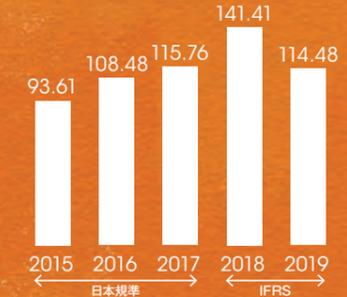
781 11.3



2016年度は9ヵ月決算でしたが、高付加価値製品の拡販および原価低減活動の成果により、2015年度と比較して増加しました。2019年度は実質的に増益であるものの、減損損失・M&A関連費用の計上や補助金の減少などの一過性要因により、営業減益となりました。

1株当たり当期利益(EPS) (円)

114.48



2016年度は9ヵ月決算でしたが、当期利益の増加により、2015年度と比較して増加しました。2016年度以降は概ね営業利益などの利益項目の推移に比例しており、2019年度は営業減益の影響を受け、EPSは前年比で減少しました。

1株当たり配当金／IFRS 配当性向*

45.0 39.3



安定的かつ継続的な配当を基本方針とし、配当性向30%の維持を目標に掲げており、2015年度以降、当期利益に比例して増加しています。2019年度は一過性の要因で減益となるものの、安定配当の方針に基づき45円を維持しました。
* 2015年~2017年の配当性向は、日本基準数値にのれん償却額を調整し、算定しています。

株主総利回り(TSR) (%)

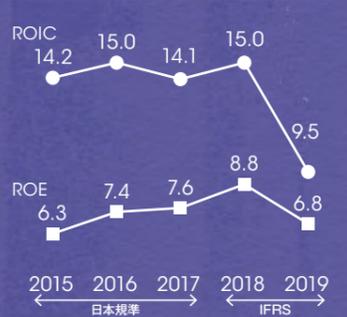
375.3



2015年度以降、増配基調および株価上昇により、TSRは年々上昇しています。2019年度は、前年から配当を据え置いたものの好調な株価推移により、比較指標である配当込みTOPIXを2倍以上上回りました。

自己資本利益率(ROE)/投下資本利益率(ROIC) (%)

6.8 9.5

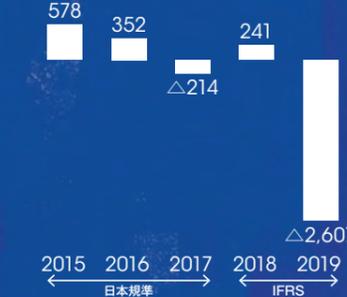


ROEは概ね7%前後で推移していましたが、2019年度は当期利益の減少により前年比で低下しました。ROICは、14~15%で推移していましたが、2019年度は買収影響で投下資本回転率が低下したことに加え、営業利益率も下落したことで、前年比で低下しました。

非財務ハイライト

フリー・キャッシュ・フロー (億円)

△2,607



塗料業界は設備投資負担が軽くキャッシュ・フローを創出しやすいため、比較的プラスで推移する傾向にあります。2017年度はDunn-Edwardsの買収、2019年度はDuluxGroupおよびBetek Boyaの買収により支出が増加し、フリー・キャッシュ・フローはマイナスに転じました。

中国経済サミット優れたブランド賞

3年連続受賞



1992年に中国に進出後、高品質の「立邦」ブランド製品の浸透に加え、中国全土を網羅する充実した販売網やきめ細かなサービスで汎用(建築・DIY)市場シェアNo.1の地位を確立し、顧客の高い満足度を獲得したことで、3年連続の受賞を果たしています。

汎用(建築用)塗料事業におけるNo.1シェア (国・地域)

9カ国・地域



日本では長期にわたりNo.1シェアを維持するとともに、1967年以降、ASEAN事業を積極的に拡大したことで、順次No.1国数が増加しました。2019年度は、DuluxGroupやBetek Boyaを買収したことで、新たに豪州やトルコなどで1位となりました。

ネット・デット／ネットD/Eレシオ

3,109 0.6



塗料業界は比較的設備投資負担が軽くキャッシュ・フローを創出しやすいため、2018年度まではマイナスで推移しました。2019年度はDuluxGroupやBetek Boyaの買収に当たり金融機関からの借入れで資金調達したことにより、ネット・デットは大きくプラスに転じました。

社員満足度(国内) (点)

3.70 / 5点



当社では、社員を価値創造のための重要な経営資産として位置付け、社員の雇用維持、能力開発、成長支援などに取り組んでいます。その結果、会社に対する信頼へと着実に結び付いています。

水性塗料の出荷割合* (%)

86.2



世界的な環境意識の高まりや環境規制の強化に伴い、水性塗料の需要が拡大しています。当社の強みである技術力を活用した競争優位性の高い水性塗料製品を各事業で積極的に開発しており、水性塗料の出荷比率は年々高まっています。
* 日本ペイント(NPTU)、NIPSEA、Dunn-Edwardsの3社を対象。水性塗料出荷量(万トン)÷総出荷量(万トン)で計算